

発 言 通 告 書

令和4年2月24日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 渡 部 昭

次のとおり通告します。

発言順位	4	受領日時	2月 24日 午前 10時 40分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 100 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長		・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	水道事業について	(1)水道ビジョンまつやま2019について ①パブリックコメントの実施時期、コメントの内容及び活用について ②ビジョンの公開方法について ③ビジョン公開時に、水道使用者・議会などに料金改定の予定を具体的に明らかにしたのか。 (2)良好な経営状況下での料金改定について ①使用者の理解度について ②使用者の理解を深めるための取組について ③今までの企業努力の成果と具体的な取組内容について ④1カ月20㎡使用した場合の水道料金の中核市との比較について (3)資産維持費について ①単年度実質収支の位置づけについて ②資産維持率を引き上げると仮定すれば、どのようなケースが想定されるか。 また、財務諸表にはどのような数値に変化が現れるのか。 ③費用積み上げ方式の内容について ④現行の1カ月20㎡使用の2,795円の料金の中で、資産維持費に当たる金額は幾らか。 (4)人口・世帯・給水量について ①「人が減るから、使用する水量も比例して減る。しかし、世帯数は比例して減らない」という現象について、設備産業で公営企業である水道事業の考え方を問う。 ②これからの行政区域内の世帯数予測について また、今回の基本料金の見直しにおける世帯数との関係について
2	これからの農業政策について	(1)みどりの食料システム戦略について ①本市の考え方について

